

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年10月30日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,902,958	1,930,980	3,920,140
経常利益 (千円)	542,092	563,779	1,107,964
四半期(当期)純利益 (千円)	317,867	353,970	683,083
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	331,669	353,970	673,098
純資産額 (千円)	7,755,678	8,104,483	8,095,915
総資産額 (千円)	8,264,985	8,658,134	8,679,017
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	3.87	4.30	8.31
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	93.8	93.6	93.3
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	262,191	217,827	843,821
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	278,912	550,526	3,442,107
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	275,333	345,161	275,921
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,695,740	6,424,865	6,001,298

回次	第17期 第2四半期連結 会計期間	第18期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.67	1.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社と子会社SBIサーチナ株式会社は、平成26年9月1日に合併いたしました。

詳細は、第4.「経理の状況」1.四半期連結財務諸表 注記事項(企業結合等関係)に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
 または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の1,902百万円から28百万円（1.5%）の増収となる1,930百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期間の958百万円から17百万円（1.8%）増加し975百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期間の446百万円から44百万円（9.9%）減少し402百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期間の498百万円から54百万円（11.0%）の増益となる552百万円となりました。

営業外損益が、前年同期間と比べ、純額で33百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期間の542百万円から21百万円（4.0%）の増益となる563百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期間の317百万円から36百万円（11.4%）の増益となる353百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
コンサルティング	340,274	17.9	225,826	11.7	33.6
データ・ソリューション	742,337	39.0	772,278	40.0	4.0
メディア・ソリューション	323,092	17.0	298,689	15.5	7.6
計	1,405,704	73.9	1,296,794	67.2	7.7
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	497,253	26.1	634,186	32.8	27.5
計	497,253	26.1	634,186	32.8	27.5
連結売上高	1,902,958	100.0	1,930,980	100.0	1.5

#### 1) ファイナンシャル・サービス事業

##### ・コンサルティング

確定拠出年金関連やIR説明会の売上が増加いたしました。ウェブ・コンサルティングや資産運用セミナーの売上が減少し、平成26年2月に上海サーチナ（新秦商務諮詢（上海）有限公司）を売却し、同社のリサーチ事業の売上が無くなりました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同期間の340百万円から114百万円（33.6%）の減収となる225百万円となりました。

##### ・データ・ソリューション

タブレットアプリを中心としたファンドデータ関連の売上やファンドレポートの売上が増加し、株式新聞WEB版の売上も増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期間の742百万円から29百万円（4.0%）の増収となる772百万円となりました。

・メディア・ソリューション

モーニングスターウェブサイトのウェブ広告は増加いたしました。サーチナウェブサイトのウェブ広告が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期間の323百万円から24百万円（7.6%）の減収となる298百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社の投資委託者報酬が大幅に増加し、アセットマネジメントの売上高は、前年同期間の497百万円から136百万円（27.5%）の増収となる634百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間の1,405百万円から108百万円（7.7%）の減収となる1,296百万円となりました。セグメント利益は、前年同期間の423百万円から22百万円（5.4%）の増益となる446百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間の497百万円から136百万円（27.5%）の増収となる634百万円となりました。セグメント利益は、前年同期間の74百万円から32百万円（43.0%）の増益となる106百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して20百万円減少し、8,658百万円となりました。

これは、流動資産が前連結会計年度末と比較して14百万円減少し、7,223百万円となり、

固定資産が前連結会計年度末と比較して6百万円減少して、1,434百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が162百万円減少した一方、売掛金が111百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、553百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が62百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に353百万円の四半期純利益が計上され、345百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が8百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、8,104百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ423百万円増加し、6,424百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、44百万円減少し、217百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間と比べ21百万円増加した一方、法人税等の支払が54百万円増加し、利息及び配当金の受取額が前年同期間に比べ41百万円少なくなったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、829百万円増加し、550百万円の獲得となりました。

これは、主として、前年同期間に231百万円あった子会社株式の取得がなかったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期間に比べ、69百万円減少し、345百万円の支出となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同期間の275百万円から、当第2四半期連結累計期間は344百万円となったことによるものであります。

(4) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	315,600,000
計	315,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年10月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	83,973,600	83,973,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	83,973,600	83,973,600		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	83,973,600	-	2,115,620	-	2,506,927

( 6 ) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する所有株式 数の割合 (%)
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	40,466,100	48.2
モーニングスター・インク (常任代理人 大和証券株式会社)	米国イリノイ州シカゴ市ウェストワシントンストリート22 (常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	27,518,400	32.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	(常任代理人住所) (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,102,200	1.3
富春 勇	広島県広島市	1,083,000	1.3
鈴木 智博	石川県金沢市	342,800	0.4
高野 潔	埼玉県新座市	330,000	0.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	309,600	0.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	305,600	0.4
ザ バンク オブ ニューヨークジャスディック トリーティー アカウンド (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都中央区月島4丁目16-13)	287,400	0.3
大西 健一	広島県広島市	195,000	0.2
計	-	71,940,100	85.7

(注) 当社は、自己株式を1,735,200株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(7)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式1,735,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式82,237,000	822,370	
単元未満株式	1,400		
発行済株式総数	83,973,600		
総株主の議決権		822,370	

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	1,735,200		1,735,200	2.1
計		1,735,200		1,735,200	2.1

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,572,413	6,410,059
売掛金	469,914	581,312
有価証券	79,356	79,371
たな卸資産	18,643	17,847
繰延税金資産	22,309	21,539
その他	85,371	123,237
流動資産合計	7,238,008	7,223,368
固定資産		
有形固定資産	242,387	252,467
無形固定資産		
のれん	940,406	914,682
ソフトウェア	182,623	176,571
その他	36,334	65,767
無形固定資産合計	1,159,364	1,157,021
投資その他の資産		
投資有価証券	5,410	5,410
繰延税金資産	5,446	7,574
その他	228,398	212,290
投資その他の資産合計	239,256	225,276
固定資産合計	1,441,008	1,434,765
資産合計	8,679,017	8,658,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,960	34,897
未払金	193,953	227,920
未払法人税等	282,404	220,086
未払消費税等	23,630	52,031
その他	17,752	17,653
流動負債合計	581,701	552,589
固定負債		
リース債務	1,400	1,061
固定負債合計	1,400	1,061
負債合計	583,102	553,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,231,322	3,231,322
利益剰余金	2,927,419	2,935,988
自己株式	178,447	178,447
株主資本合計	8,095,915	8,104,483
純資産合計	8,095,915	8,104,483
負債純資産合計	8,679,017	8,658,134

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,902,958	1,930,980
売上原価	958,162	975,345
売上総利益	944,795	955,635
販売費及び一般管理費	1,446,723	1,402,651
営業利益	498,072	552,983
営業外収益		
受取利息	42,593	964
有価証券売却益	-	9,407
為替差益	-	547
その他	2,604	52
営業外収益合計	45,197	10,971
営業外費用		
支払利息	53	40
為替差損	609	-
株式交付費	305	-
その他	209	135
営業外費用合計	1,177	175
経常利益	542,092	563,779
税金等調整前四半期純利益	542,092	563,779
法人税、住民税及び事業税	220,991	211,167
法人税等調整額	579	1,358
法人税等合計	221,570	209,809
少数株主損益調整前四半期純利益	320,521	353,970
少数株主利益	2,653	-
四半期純利益	317,867	353,970

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320,521	353,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,016	-
為替換算調整勘定	7,131	-
その他の包括利益合計	11,148	-
四半期包括利益	331,669	353,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,219	353,970
少数株主に係る四半期包括利益	2,449	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	542,092	563,779
減価償却費	45,437	40,321
長期前払費用償却額	3,898	3,190
のれん償却額	25,820	26,357
貸倒引当金の増減額(は減少)	85	-
受取利息及び受取配当金	42,593	964
支払利息	53	40
株式交付費	305	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	9,407
為替差損益(は益)	72	374
売上債権の増減額(は増加)	72,002	111,398
たな卸資産の増減額(は増加)	7,165	796
仕入債務の増減額(は減少)	7,100	29,063
未払金の増減額(は減少)	19,241	17,496
その他の流動資産の増減額(は増加)	26,966	38,605
その他の流動負債の増減額(は減少)	14,261	29,377
小計	428,118	491,545
利息及び配当金の受取額	42,618	1,077
利息の支払額	53	40
法人税等の支払額	220,620	274,746
法人税等の還付額	12,128	8
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>262,191</b>	<b>217,827</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	64,667
定期預金の払戻による収入	-	650,575
有形固定資産の取得による支出	2,260	3,440
無形固定資産の取得による支出	58,728	54,266
投資有価証券の売却による収入	10,717	1,109,407
子会社株式の取得による支出	231,000	-
投資有価証券の取得による支出	-	1,100,000
敷金及び保証金の回収による収入	2,358	12,917
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>278,912</b>	<b>550,526</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	275,021	344,835
リース債務の返済による支出	312	325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>275,333</b>	<b>345,161</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,438	374
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	283,616	423,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,979,355	6,001,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,695,740	6,424,865

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の変更

当社は平成26年9月1日に連結子会社であったSBIサーチナ株式会社を吸収合併したため、連結の範囲から除いております。

平成26年9月1日以降当社の連結子会社は、SBIアセットマネジメント株式会社、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社、イー・アドバイザー株式会社及びSBI Fund Management Company S.A.の4社となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
仕掛品	955千円	700千円
貯蔵品	7,688	7,147

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
	198,885千円	203,807千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
従業員給与	149,775千円	138,036千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,816,727千円	6,410,059千円
有価証券	4,279,337	79,371
証券口座預け金(その他流動資産)	91	101
3ヶ月超の定期預金	200,415	64,667
現金同等物以外の有価証券	4,200,000	-
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	1,695,740	6,424,865

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月23日 取締役会	普通株式	利益剰余金	274,128	1,000	平成25年3月31日	平成25年6月3日

(注) 当社は、平成25年7月1日付で、株式1株につき300株の株式分割を行っております。

上記の前連結会計年度(平成25年3月期)の期末配当金は、株式分割後の株式数で計算すると3.33円に相当いたします。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	345,401	4.20	平成26年3月31日	平成26年6月3日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,405,704	497,253	1,902,958	-	1,902,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,832	-	12,832	12,832	-
計	1,418,536	497,253	1,915,790	12,832	1,902,958
セグメント利益	423,379	74,763	498,142	70	498,072

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,296,794	634,186	1,930,980	-	1,930,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,406	483	12,889	12,889	-
計	1,309,200	634,669	1,943,870	12,889	1,930,980
セグメント利益	446,076	106,907	552,983	-	552,983

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,915,790	1,943,870
セグメント間取引消去	12,832	12,889
四半期連結損益計算書の売上高	1,902,958	1,930,980

(単位：千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	498,142	552,983
セグメント間取引消去	70	-
四半期連結損益計算書の営業利益	498,072	552,983

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

平成25年5月24日に、子会社SBIサーチナ株式会社の株式を追加取得し、完全子会社といたしました。それに伴い、のれんを128,239千円計上いたしました。当該のれんの報告セグメントは、ファイナンシャル・サービス事業であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)

共通支配下の取引等

1 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

SBIサーチナ株式会社

事業の内容：日本最大の中国情報サイト『サーチナ』(<http://searchina.ne.jp/>)の運営、金融機関への香港、中国大陸市場データ及び企業情報の提供、メディアへの情報配信

(2) 企業結合日

平成26年9月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、SBIサーチナ株式会社は解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

モーニングスター株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目指しております。その一環として、投資家の皆様へ提供する海外金融情報を充実することが重要と考えております。

SBIサーチナ株式会社は、日本最大の中国情報サイト『サーチナ』(<http://searchina.ne.jp/>)の運営のほか、金融機関への香港、中国大陸市場データ及び企業情報の提供、Yahoo、MSN等複数メディアへの情報配信等を行っております。

当社は平成24年10月12日にSBIサーチナ株式会社の株式を取得し、子会社とすることにより、当社グループとして、急速な成長を遂げているアジア、特に中国に関連した情報配信を拡充し、投資家のみなさまの情報ニーズにこたえてまいりました。

一方、当社は、世界27拠点をもちグローバルなモーニングスター・インクとの提携のもと、国内屈指の金融情報サイト『モーニングスターウェブサイト』(<http://www.morningstar.co.jp/>)、証券専門新聞として国内最大の発行部数を誇る日刊『株式新聞』、『株式新聞WEB版』ほかで、国内の投資家の皆様に、北米、欧州を中心に海外金融情報を提供してまいりました。

SBIサーチナ株式会社の子会社化から1年9ヶ月が経過し、2社による海外金融情報の提供状況、当社グループの今後の事業展開、事業の効率化などを総合的に勘案した結果、投資家の皆様へより充実した海外金融情報を提供し、法人のお客様により円滑に総合的なサービスを提供するためには、両社が保有する海外金融データなどの経営資源を統合し、組織をひとつにして運営する必要があると判断し、合併を決定いたしました。

なお、当社は、SBIサーチナ株式会社の発行済株式の全部を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円87銭	4円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	317,867	353,970
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	317,867	353,970
普通株式の期中平均株式数(株)	82,238,400	82,238,400
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(注) 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

記載すべき事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月28日

モーニングスター株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 遠藤 康彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古谷 大二郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。